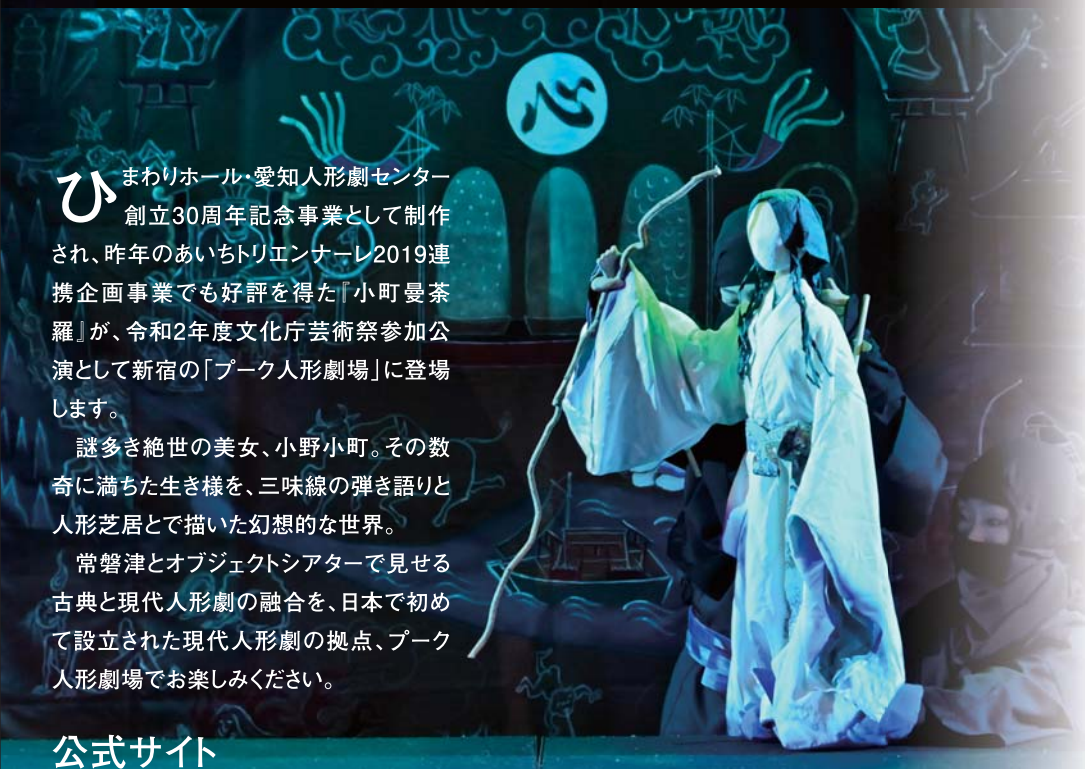




『小町曼茶羅』 東京公演が 決定！



プーク人形劇場
誕生50周年プレ公演

『小町曼茶羅』

～美女伝説にひそむ穢れに迫る、
三味線弾き語り人形劇～

浄瑠璃台本・演出：木村繁

三味線弾き語り：常磐津網鵬

出演：桑原博之 (PuppetTheaterゆめトランク)

古家暖華 (M.カンパニー)

中島由紀子 (avecビーズ)

LONTO (ラストラダカンパニー)

2020年

10月23日(金) 19:00

24日(土) 14:00 / 18:00

25日(日) 14:00

プーク人形劇場

東京都渋谷区代々木2-12-3

●一般前売3300円

●ペア券6400円

(2枚セット・要予約)

●グループ割3000円

(3名以上1人あたり・要予約)

●友の会3000円

●親子ペア券5800円

(親子2名ペア・要予約)

●子ども追加券2000円

(親子券にのみ適用)

主催：プーク人形劇場

共催：特定非営利活動法人愛知人形劇センター

令和2年度(第75回)
文化庁芸術祭参加公演

公式サイト

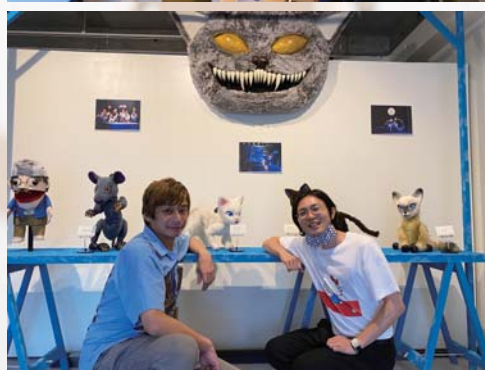
<http://puk.jp/theatre/2020/komachi/index.html>



「小町曼茶羅」の展示



「屋」の展示。左から構成、演出のフキノ
コスターさん(オレンヂスタ)、人形美術の
坂東亜矢子さん(糸あやつり人形劇団の
のむし)が「来場」。



「ジェニー」白猫ビーターの不思議な冒
険の展示。左から演出の刈馬カズさん
(刈馬演劇設計社)、ビーター役を務めた
山内庸平さんが「来場」。ジェニーが隠れ
ちゃって「コメンナサイ」。



「小町曼茶羅」は踊り場にまで！

名演を見せた人形たちを 間近でジロジロ！

@HORIE BLDG

2020年7月8日～18日、名古屋市中村区のホリエビル 2F
「Gallery NA2」にて、ひまわりホール・愛知人形劇センター創立
30周年記念制作作品人形展示「Meet Puppet Arts」を開催。
会期中は1Fの喫茶Riverで「小町曼茶羅」「ジェニー」白猫ビ
ーターの不思議な冒険」「犀(さい)」の舞台映像も上映しました。

この企画は、喫茶Riverのマスター堀江善弘氏(正会員・ダン
サー)より、ギャラリー無料レンタル企画の一環で人形展示をしな
いかという問い合わせを頂き、実現しました。

これまでもロビー等での展示はありましたが、外部施設では初
の試み。それに加え、一部屋で3作品を展示するのは挑戦だった
と思います。ご存じの通り、3作品は作風も人形も異なることだ
けです。演出家×人形作家×舞台美術家の力で各作品の個性
を活かしつつ、一つの空間を生み出していく様は、とてもワクワク
させられました。

実際に出来上がった空間はなかなかの完成度だったのではな
いでしょうか。何度か在廊しましたが、毎回ビルの狭く薄暗い階段
(渋ビルなのでそれがいい味)を上り、ギャラリーに入る瞬間に感
じる色彩や躍動感が好きでした。また会場の真ん中で見回すと、
コロナ世界感が変わるのも楽しかったです。

一方、この展示を通して強く感じたのは「この人形たちを舞台
で见たい」という想いでした。展示作業の際、飾られることを目的
としない人形たちは、まず静止させるのに一苦労でした。ようやく
静止すると今度はあらゆる箇所が、見える角度や照明の当たり方
で意味を持ち始めたのです。人形操者によって生かされ、時には
モノとなって成立し、舞台効果でさらに様相を変えた人形たち。舞
台空間での「普通」が、展示という形式では伝えきれないのは仕
方ない事です、歯痒かったです。というのも、今回の成果として
人形劇に馴染みがなかった方もご来場くださったことや、鑑賞者
が人形の質感、緻密さ、多様性に魅了されたことも挙げられるから
です。

より多くの方が新たに興味を持ち、さらには観客となって楽しん
でいただくことが定着するよう、劇場公演と連携した企画をもっと
展開できればと思います。

特定非営利活動法人愛知人形劇センター事務局 辰野美緒

名称変更のお知らせ

4月1日からの社名変更に伴い、会場名が「損保ジャパン人形劇場ひまわりホール」となりました。



特定非営利活動法人

愛知人形劇センター

〒460-8551 名古屋市中区丸の内3-22-21

損保ジャパン名古屋ビル8F

TEL 052-212-7229 FAX 052-212-7309

<http://aichi-puppet.net/> MAIL: mail@aichi-puppet.net

愛知人形劇センター

ひまわりホール情報誌

あぶ

通巻314 2020年秋号

発行：特定非営利活動法人 愛知人形劇センター

発行人：高橋一

編集人：中康彦

デザイン：江利山浩二 (KINGS ROAD)

編集：小島祐未子 (家鴨の編集会)

©愛知人形劇センター ※本誌記事・写真・レイアウトの転載を禁じます。

あぶ

ひまわりホールから
発信する
シアター情報誌



小町一行、 お江戸に行く！

ひまわりホール・愛知人形劇センター30周年記念制作事業

『小町曼茶羅』名古屋公演

撮影：清水ジロー

2020 AUTUMN

VOL.314

<http://aichi-puppet.net/>